



碧南ロータリークラブ週報

第2736回例会 平成27年6月10日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・岡本彰人

●斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のメニュー

和風弁当 大正館

●本日のお客様

愛知工業大学 客員講師 西山禎泰様

会 長 挨 拶

この地方も6月8日に梅雨入りをしました。これまでで最も早く梅雨入りは1963年5月4日、最も遅い梅雨入りは1951年6月28日だそうです。今年は平年並みという事です。ちなみに梅雨明けで最も早い年は1963年6月22日で、最も遅いのは2009年8月31日だったそうです。平均では7月21日頃のようなようです。



石橋嘉彦会長

先日の6月7日に、碧南市消防団操法大会が開催され、消防団員の操法が披露されましたが、中でも一年団員の二ヶ月間の訓練だけでの操法はすばらしいなと思いましたし、碧南市の防災意識の高さを改めて感じました。8月8日に豊川での県の操法大会もがんばってみたいと思いました。

本日は時の記念日という事で、時間の大切さを改めて考える日であります。6月10日を記念日とした理由は、1920年(大正9年)東京天文台と生活改善同盟会によって、時間をきちんと守り欧米並みに生活改善、合理化を図ろう、という事で天智天皇10年4月25日、日本初の時計が鐘を打った日という事で決められたようです。

また、本日の卓話は愛工大の西山講師より、ロボットについてお話をして頂きますが、今、愛知県ではリニア、ジェット、FCVをキーワードに、重大施策が展開されておりますが、そ

の他ロボット、ICT（情報通信技術）にも注目され、施策が展開されようとしています。2017年、名古屋にロボカップ2017世界大会誘致を目指しています。

今日は興味深い話が聞けるとおもいますので、よろしくお願ひ申し上げ挨拶とします。

幹 事 報 告

本日は3点ほどご報告させていただきます。

- 先週開催されました第12回理事会の報告を幹事報告書に記載してございますので、お目通し下さい。
- 他クラブの例会変更は半田クラブのみです。幹事報告書に記載してございます。
- 入会候補者のプロフィールにつきまして、メールボックスにて配布させていただきました。細則の第10条第4節に基づきまして、ご異議がございましたら6月17日までに理由を書面にてお申し出ください。ご意義がない場合、正式な入会資格が与えられます。



伊藤正幸幹事

副 幹 事 報 告

- 本日、メールボックスに青い紙を入れさせていただきました。次年度の例会時間の変更のお知らせでございます。7月8日の水曜日でございますが、インフォーマルミーティングの夜間例会となりますので、17時半からクラブ協議会を開催させていただきます。その後、18時半から懇親会となっております。酒席になりますので、お車で来られる方はご配慮頂きたいと思ひます。食事の用意がござひますので、欠席される方は7月1日までに事務局にご連絡頂けますよう、お願ひ致します。
- 本日例会終了後、201号室にて次年度第3回理事会を開催致します。次年度役員、理事の皆様はご出席頂きたいと思ひます。



新美雅浩副幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 18 名の内出席者 11 名)出席者 58 名	
出席対象者 58/61 名	出席率 95.08%
欠席者 10 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

新美 宗和君 右眼が良く見える様になりました。おかげで、妻の顔のシワまで！良し悪

しです。

- 奥田 雪雄君 昨年の6月10日、あの世へ行ってきましたが、1年後の本日、皆様と会える事をうれしく思います。
- 清澤 聡之君 6月6日に、浜風蠟扇忌法要が盛大に勤まりました。大正館様には、大変お世話になりました。
- 竹中 誠君 先週、忘れていました。オイスカ碧南高浜推進協議会の総会が、無事に終わりました。皆様には感謝です。
- 榊原 健君 なでしこJAPAN“冷や冷やのスタート”でしたが、次からは、しっかりします。応援宜しくお願いします。
- 黒田 泰弘君 本日の卓話の講師、西山禎泰様をご紹介します。
- 杉浦 栄次君 6月7日（日）碧南市消防団操法大会が無事に挙行されました。会長様始め多くの皆様に応援を頂き、ありがとうございました。大会終了後、火災が続いて少し心配ですが、これからももしっかり活動して参ります。

卓 話

「“ロボット・教育・未来”のキーワードから活動を通じて」

愛知工業大学 客員講師 西山禎泰様



西山禎泰様

私はロボットコレクター、「ロボ太郎」という事で色々な場所で活動させて頂いております。愛知工業大学で客員講師をさせて頂いております。

大学で今年度から、ロボットミュージアムというものを正式にスタートさせました。学内の様々なロボット研究者達と共同開発を行い、それを見学する事がしやすい施設となっております。

先日新聞でも取り上げて頂きまして、全面ガラス張りというこだわりで作りました。ロボットというのは、電気学科、機械学科、情報学科など色んな技術が入ってこないと完成しません。

そこで4つのプロジェクトをもつミュージアムを作りました。鉄人モバイルプロジェクトルーム、サーチ&レスキュープロジェクトルーム、ロボカッププロジェクトルーム、アウトリーチプロジェクトルームです。

大学は鉄人28号をイメージキャラクターにさせて頂きました。そして年に1機ずつ作っているのが、「鉄人」です。鉄人を作っていく見やすいプロジェクトルームにしようという事になりました。

サーチ&レスキュープロジェクトでは、施設内には日本で2つしかない世界基準を満たしたでこぼこな道があります。

今年はロボカップの日本大会を愛知工業大学で開催致します。日本全国の競技会で活躍している優れたロボット達が集結します。小学生、中学生、ジュニア、シニアの部までをしていくプロジェクトルームが一つあります。

私は主に鉄人プロジェクトとアウトリーチプロジェクトに関わっております。アウトリーチは何かと言いますと、外に出ていこうという事です。我々から外へ出て行きます。

私は以前、絵描きをしておりました。大変異色な経歴ですが、なぜロボットにはまったかと言いますと、愛知万博の影響が大変大きいです。昔、科学雑誌などを見ても期待する科学技術ばかり載っていました。車が空を飛んでいたり、輝かしい未来を期待していたと思います。今の子供は色々な情報を知っています。万博のような素晴らしいものを見ても、子供達は様々な意見を持っています。純粹に未来に期待して欲しいという事から、私はロボットに目をつけました。

ちょうどその頃、名古屋にロボットミュージアムを作るという動きがありました。栄に1年間だけロボットミュージアムがありました。その立ち上げから参加させて頂き、制作も参加させて頂きました。その時に絵描きからロボット屋へ転身しました。

世界から日本はどんな国だと聞くと、5本の指に必ず「ロボット」が入ってきます。それなのにロボットを学べる場所が日本国内にないのです。ロボットだけを学べる場所はないのです。それで栄に作ったのですが、あまりに管理費などが高く、つぶれました。現在、2m級の鉄人11号がおり、今は12号を作ろうとしております。

外へ発信していくという事で、どのような事を行っているかを紹介させて頂きます。年に2回、大掛かりな展示会を開いております。

2011年に沖縄でロボット博を開催させて頂きまして、日本全国から7万9千人も来て頂きました。ASIMO型、マツコ・デラックスのロボットで有名なジェミノイド型、介護ロボなど様々なロボットを沖縄に集合させました。

この施設でこだわったのは、ロボットを深く学べるという事です。そのためにはロボットの歴史を学んでもらおうと思いました。ロボットというのは、実際の研究と平行してアニメなどのイメージも大変重要な役割を担っています。研究者達はみんなガンダムや鉄人28号を見て、こんなロボットを作りたいというイメージを持っております。

愛知万博の10周年記念で瀬戸蔵ロボット博を開催致しました。市役所の観光課の方に協力頂き、手作り博覧会を開催致しました。予算がないのでチラシも自分で作りまし、未来の車のイメージも必要という事で、トヨタの開発局のトップの方にも協力して頂きました。未来のPHVや水の中を泳ぐロボット、からくり等を展示致しました。手術支援ロボットの「ダ・ヴィンチ」もきてくれました。子供達は医療体験をしていました。

ロボットの歴史について少しお話したいと思えます。ロボットというのは、最初イメージから作られた言葉なのです。チェコの作曲家のカレル・チャペックが戯曲「RUR-Rossumu's universal Robots」で使用した造語です。工学や科学から作られた言葉ではなく、物語で出てくるキャラクターの名前なのです。現在世界中で使われているロボットという言葉はこれから生まれました。神話で出てくるゴーレムもロボットとして表現されておりましたが、ロボットという言葉がはっきりしてきたのは、この戯曲からです。

大学にロボットミュージアムを作りましたが、ここはあくまで研究をベースとした施設です。ロボットを学べる施設をいつか作れたらな、と思っております。

皆様のご協力を仰ぐ事もあるかと思えます。この地域にこそからくりミュージアムを作り

たいと思っております。ロボットというのはこれからの技術を支えていく、これからの未来を支えていくものになります。実際に様々な場所で活躍しているロボットが増えてきております。見えないところでもロボット技術が使われております。

本日はロボットを紹介させて頂く機会を頂きまして、ありがとうございました。

次回例会案内

平成27年6月24日（水）定款第6条第1節Cによる休会

平成27年7月1日（水）クラブフォーラム「役員挨拶」